

XII. お住まいの地震対策について（問 30～問 32）

＜問 30～32 は、耐震性が低い可能性がある、昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した住宅を所有されている方にお聞きします。（昭和 56 年に建築基準法が改正されました）＞

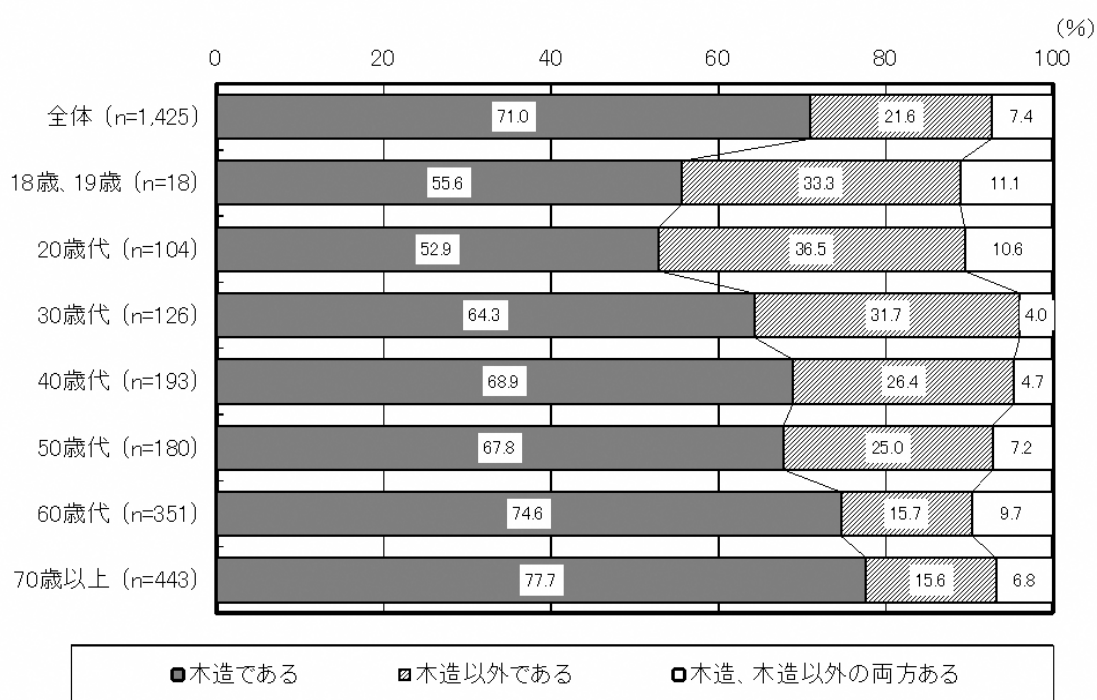
【問 30】あなたの所有されている住宅は木造ですか、木造以外（鉄骨造、鉄筋コンクリート造等）ですか。（n=1,425）

（1）全体的傾向

「木造である」と回答した人の割合が約 71%で、「木造以外である」と回答した人の割合が約 22%で、「木造、木造以外の両方ある」と回答した人の割合が約 7%となっている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも、「木造である」と回答した人の割合が約 53%～78%と最も高くなっている。



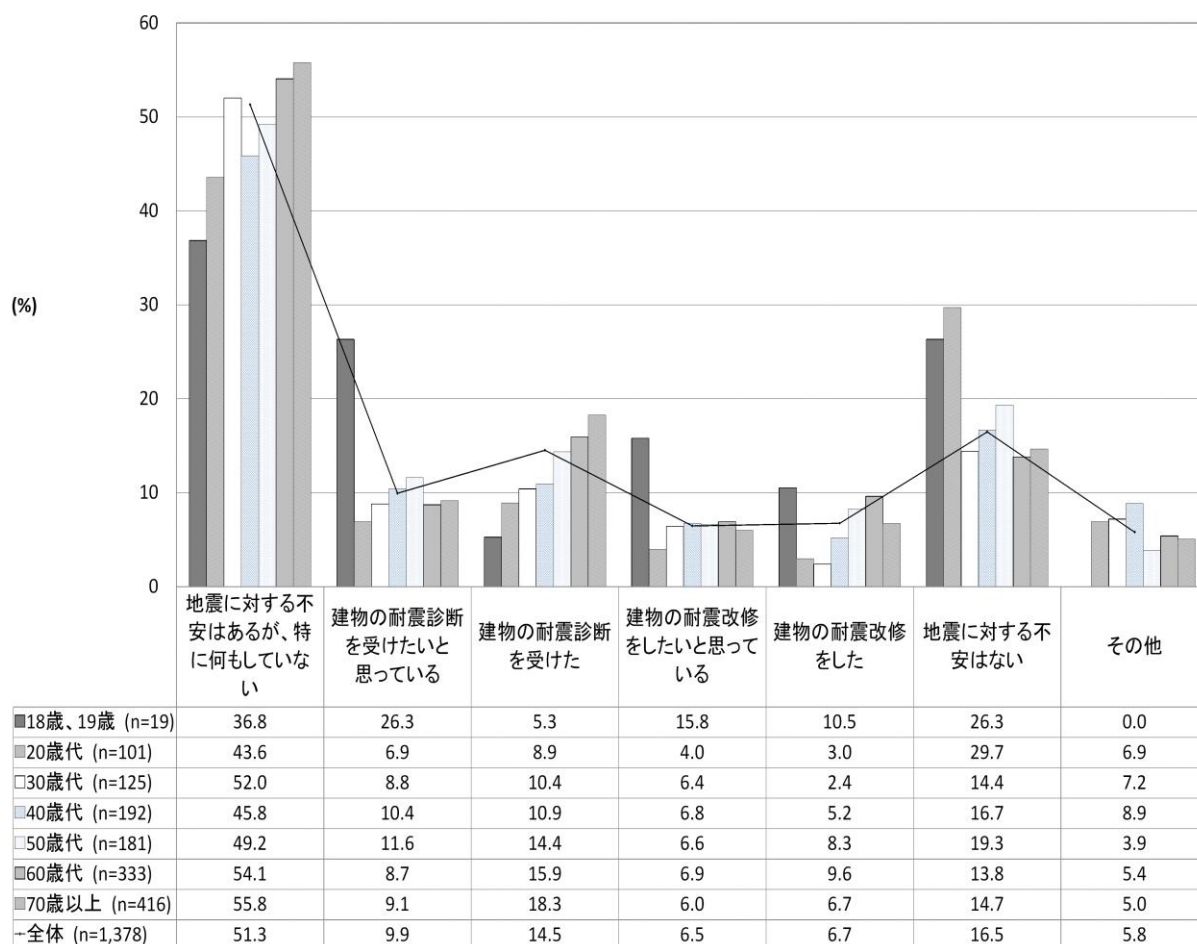
【問 31】あなたは所有されている住宅に対して、どのような地震対策をしていますか。
 (複数回答：n=1,378)

(1) 全体的傾向

「地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と回答した人の割合が約 51%と最も高く、次いで「地震に対する不安はない」(約 17%)、「建物の耐震診断を受けた」(約 15%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と回答した人の割合が最も多く約 37%~56%となっている。また、「地震に対する不安はない」と回答した人の割合は、20 歳代以下で約 26%~30%と高くなっている。



<問 31 で「1（何もしていない）」と答えた方にお聞きします。>

【問 32】何もしていない理由は次のうちどれですか。（複数回答：n=678）

（1）全体的傾向

「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が約 59%と最も高く、次いで「耐震診断にお金がかかる」（約 41%）、「耐震改修しても安心できない」（約 23%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも、「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が高く約 48%～71%となっている。また、「耐震診断にお金がかかる」と回答した人の割合は 40 歳代以下で高くなっており、特に 18 歳、19 歳が約 86%と高くなっている。

